

稲沢市と三菱電機株式会社稲沢製作所との
ホストタウン推進連携に関する協定書

稲沢市(以下「甲」という。)と三菱電機株式会社稲沢製作所(以下「乙」という。)は 2020 年に開催される東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会(以下「東京 2020 大会」という。)に向けたホストタウン推進に関し、協力連携することを確認し、次のとおり協定を締結する。

(趣旨)

第1条 甲は東京2020大会開催にあたり、姉妹都市であるオリンピア市との関係からギリシャを相手国としたホストタウン登録を平成28年6月に行った。今後、東京2020大会に向けて、稲沢市内で事業・操業する企業・団体等と連携し、ホストタウンとしての各種施策を推進する。

(連携事項)

第2条 乙は東京2020大会のオフィシャルパートナー企業として、事前キャンプ等で稲沢市を訪れるギリシャ選手及び競技団体並びに関係者を工場見学等で受け入れる等の協力を行う。

また、乙は甲が稲沢市内においてホストタウンとして実施する以下(1)～(3)の方々との交流施策を社員・従業員に通知し参加を促す。その他の連携事項については別途協議し、進めるものとする。

- (1)大会等に参加するために来日する選手等
- (2)大会参加国・地域の関係者
- (3)日本人オリンピック・パラリンピアン

(協議の見直し)

第3条 甲又は乙のいずれかが、協定内容の変更を申し出た際は、協議の上、必要な変更を行うものとする。

(期間)

第4条 この協定の有効期間は、締結日から 2020 年 10 月末日までとする。

平成 30 年 11 月 14 日

甲 愛知県稲沢市稲府町1番地
稲沢市長

加藤 錠司郎

乙 愛知県稲沢市菱町1番地
三菱電機株式会社
稲沢製作所 所長

林 美克